第20巻第47号［宮崎県第47週（11/19～11/25）全国第46週（11/12～11/18）］　　平成30年11月29日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第 47 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（47 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 15 例。
5 類感染症：梅毒 1 例、播種性クリプトコックス症 1 例、百日咳 5 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状　等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	女	無症状病原体保有者	－
		都城	40 歳代	男	無症状病原体保有者	－
			50 歳代	女	無症状病原体保有者	－
5類	梅毒	小林	50 歳代	男	早期顕症梅毒（Ⅰ期）	初期硬結
	播種性クリプトコックス症	延岡	80 歳代	男	－	発熱
	百日咳	都城	0～4歳	男	－	持続する咳
		日南	0～4歳	男	－	持続する咳、夜間の咳き込み、スタッカート
		高鍋	10 歳代	男	－	持続する咳
			60 歳代	男	－	持続する咳
		日向	10 歳代	男	－	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群					症状
				50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
4類	つつが虫病	宮崎市	6例	1	1	3	1		頭痛、発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感、リンパ節腫脹、肺炎、口内炎
		都城	4例		1	2		1	
		日南	3例		3				
		小林	2例		1	1			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 705 人（定点当たり 23.8）で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘である。

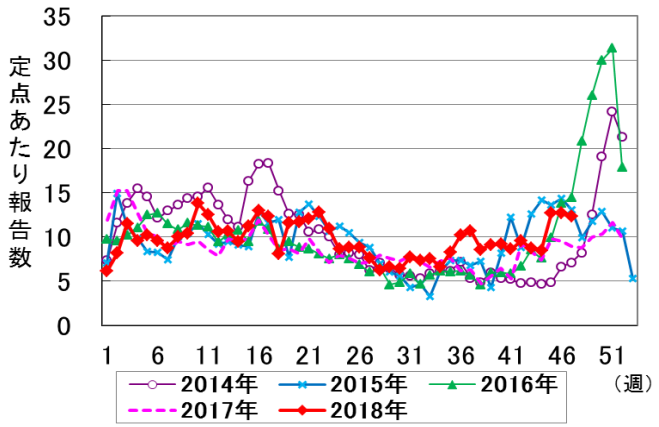
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

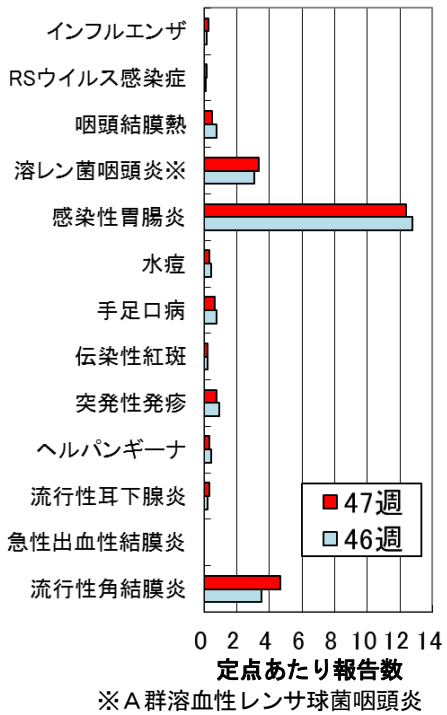
報告数は 433 人(12.4)で、前週比 97%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値*(12.8)とほぼ同率である。小林(29.3)、日南(19.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1～4 歳が全体の約 5 割を占めている。

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

感染性胃腸炎　発生状況

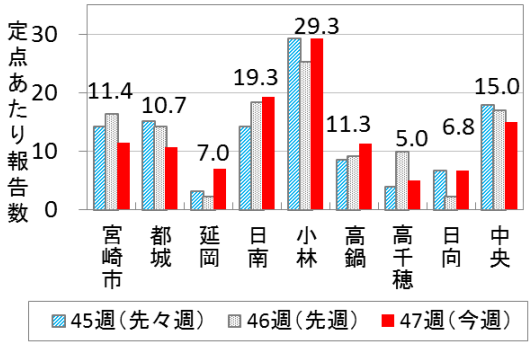


《前週との比較》



※Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎　保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.5), 水痘(1.0)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(29.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	水痘(1.0)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
・感染性胃腸炎(20.0)

＊流行注意報レベル基準値＊
・水痘(1.0)

全国 2018 年第 46 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 46 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	357 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	34 例	パラチフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	12 例	つつが虫病	33 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	3 例	レジオネラ症	18 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	43 例
	急性弛緩性麻痺	4 例	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	46 例	水痘（入院例）	9 例
	梅毒	87 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	290 例	風しん	123 例
	麻しん	4 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎とＲＳウイルス感染症である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 7,660 人(2.4)で前週比 100%と横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約 1.2 倍である。鳥取県(4.3)、福岡県(4.2)、北海道(4.0)からの報告が多く、年齢群別では 4～7 歳が全体の約 5 割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 1,921 人(0.61)で前週比 95%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.23)の約 2.7 倍である。宮城県(4.3)、新潟県(1.6)、東京都・神奈川県(各 1.5)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めている。

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報　（71定点医療機関）　2018年 第47週（11月19日～11月25日）

疾病名		第46週	第47週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	8	15		1	4		1			1	8
	定点あたり	0.14	0.26	0.00	0.10	0.57	0.00	0.20	0.00	0.00	0.17	4.00
RSウイルス感染症	報告数	4	5		2				1		2	
	定点あたり	0.11	0.14	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	27	16	5	1	5	5					
	定点あたり	0.77	0.46	0.56	0.17	1.25	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	報告数	108	117	24	12	42	8	1	19		10	1
	定点あたり	3.09	3.34	2.67	2.00	10.50	2.67	0.33	4.75	0.00	2.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	446	433	103	64	28	58	88	45	5	27	15
	定点あたり	12.74	12.37	11.44	10.67	7.00	19.33	29.33	11.25	5.00	6.75	15.00
水　痘	報告数	14	11		2	4			1		4	
	定点あたり	0.40	0.31	0.00	0.33	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	27	22	13		2			1		3	3
	定点あたり	0.77	0.63	1.44	0.00	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.75	3.00
伝染性紅斑	報告数	7	8	7			1					
	定点あたり	0.20	0.23	0.78	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	27	10	5	4	3	2			2	1
	定点あたり	0.91	0.77	1.11	0.83	1.00	1.00	0.67	0.00	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	12	2	2	3	2				2	1
	定点あたり	0.40	0.34	0.22	0.33	0.75	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	11	2	1	2	6					
	定点あたり	0.23	0.31	0.22	0.17	0.50	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	21	28	22	2	4						
	定点あたり	3.50	4.67	7.33	1.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点：58、小児科定点：35（インフルエンザ定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

上段：報告数
下段：定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数（2018年第1週～47週）

2類感染症	結　核	149例(3)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	38例					
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	11例	
	つつが虫病	31例(15)	デング熱	1例	日本紅斑熱	18例	
	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例			
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌感染症	14例	
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	6例	クロイツフェルト･ヤコブ病	2例	
	劇症型溶血性ﾚﾝｻ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ菌感染症	3例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	22例	水痘（入院例）	1例	梅　毒	6例(1)	
	播種性クリプトコックス症	5例(1)	破傷風	4例	百日咳	279例(5)	
	風しん	3例					

(　)内は今週届出分、再掲